

大津警察署協議会議事録

開催日時	令和4年9月16日（金）午後3時45分～午後5時15分	
開催場所	大津警察署 大会議室	
出席者	委員	磯田英清会長、芝山真一副会長、寺田正一委員、川上昌道委員 小原めぐみ委員、瀧千鶴委員、濱崎節子委員
	警察	署長、副署長、会計官、地域官、刑事官、交通官 調査官兼警務課長、調査官兼留置管理課長、生活安全課長 刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長 警備課長、地域第二課長、警務課総務係主査、警務課総務係主任
議事概要	<p>【交通死亡事故現場の視察】</p> <p>警察署協議会の開催前、交通死亡事故現場の視察を実施した。</p> <p>【警察署協議会】</p> <p>1 署長挨拶</p> <p>署長から「経済活動が再び活発化し、県下で犯罪や交通事故が増加している中、署員一丸となって検挙・抑止活動を強力に推進するとともに、職場環境の向上にも力を入れているところ、当署の業務運営に対して様々なご提言をいただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>会長から「交通死亡事故現場を視察し、ドライバーの一瞬の気の緩みが招いた事故だと感じた。コロナ禍で人との関わりが減り、お互いを注意喚起することも難しい。人と人との絆を深め、注意喚起し合える社会を創るため、積極的に提言していきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>議題「交通事故防止対策について」</p> <p>警察から、視察した交通死亡事故現場における当時の事故状況及び今後の対策について説明があった。その際、委員から「地元住民に特化せず、通過していく車のドライバーに対し、立て看板を利用した啓発をしてはどうか。」「車両整備により安全運転への意識を醸成させることが効果的ではないか。」「運転免許更新時講習や交通事故の報道などを見た直後は安全運転を意識するが、すぐに気持ちが薄れてしまう。ドライバーの安全意識を高める啓発活動を工夫して</p>	

いただきたい。」「他人事とはせず、地域における防犯対策とともに、交通事故防止対策も推進していただきたい。」「雑草が歩道を塞ぎ、小学生が車道に出ているのを見て感じたが、歩道の整備も交通事故防止に重要ではないか。」「キッズゾーンを知らないドライバーや歩きスマホをする人が多いと感じる。これから秋の全国交通安全運動が始まるが、創意工夫した啓発が必要になるのではないか。」旨の意見がなされ、警察から「交通事故は人為的及び環境的要因が絡み合って発生する。委員からいただいた意見を参考に、住民目線で真摯に対応し、関係機関と連携の上、創意工夫を凝らした交通事故防止対策を推進していく。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から、横断歩道の設置基準及び横断歩道での車の停止率、地域警察官の熱中症対策について質問がなされ、警察から「横断歩道は、道路の種類や地域からの要望により設置される。現在ハンドサイン運動として、歩行者が手を上げて横断の意志表示をする啓発活動を実施している。今後は『横断歩道は歩行者の聖域』という意識改革に努めていきたい。」「飲み物をパトカー内に持参させ、適宜、水分補給をするよう指示している。」旨の説明がなされた。

4 次回協議会の日程

令和4年12月中旬に開催予定